

明治期の国内の数学者とその研究 [メモ]

著者	小倉 金之助
URL	http://id.nii.ac.jp/1275/00002683/

卷7 (28年)

沢田 寛次郎 / 畫法
、堀地 On the method of the old Japanese school for finding the area of a circle

藤江 孝一 / エの値を求む
、堀地 Various series of π obtained by the old Japanese mathematicians.

(29年)

堀田 A kinematical solution of an extended problem of Pappus

林 Note on a geometrical problem

Riemann

小田正吉 / 算家譜考

遠藤 利貞 擺の長さを知る
和算の考

、Kikuchi, series for π^2 obtained by the old Japanese mathematicians.

、Kikuchi, Ajima's method of finding the length of an arc of a circle

遠藤 球を求む和算の考

川北 同項字經之修養免状

30年 (遠藤 昌の筆名を筆名に改む)

堀井英 Distribution of electricity on two infinite eccentric cylindrical surfaces

31年 堀井 Longitudinal vibrations of elastic bars

堀井 Transverse vibrations of elastic strings

32年

林, Note on the surface whose asymptotic lines can be found by simple integration

林, On a functional equation treated by Abel

33年

堀江 孝一 Seki's method of finding the length of an arc of a circle.

卷9. ¹⁹⁰² ~~1901~~ (1909)

林, On the isosceles trapezium problem

報告, "尺の長さ" 1901 July

第二期

卷8



个量查代学
己求越金以印

仙主翁

東京師範學校
中學師範部理科
田中芳雄、梅井房

4 幸 (21-

5月 7日 (25-

二十七

三十一

中子持

高子之序

東京の地は東京と云ふ
 邦に利ある身の方によつて、
 即ち十四年創立されましたが、

立を思いました。また、~~その~~内的ではなく、
その友とが、おました。そんな話

中書省

庫到 認的 規分 也 內 區 可 主

26 全庫刊

遠藤新五

Vol. 4, p. 435 (1890)

T. Fujii, ellipse

vol. 4 p. 550 (1891)

N. Yamamoto, conic

Vol. 6. p253 (1893)

(菩薩王之助, 蓮座 131 方 (mat) 204)

糖日陰分及相日正友. (204) 253
(-21)

中川修平 東亞史要 mts 224-254

Ball, Short account
of the history of math.
~~1st~~ 1 ed (1888)
mtg 21

川地朝陽 李邦秀史記

小野塵胖(友五郎)

$$\begin{array}{r} 1898 \\ 82 \\ \hline 1816 + 1 \\ 1817 \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 13 \\ \underline{11} \\ 12+ \end{array}$$

それは昔も今も社歌の
心は変わらなうといふ
11

獨創新法

麓路町三丁目 1867-

北條町 1858-

大井 1883

井口在屋 1856

大井 1882

岡田又次 1872

1898年

元田付 1867

1888年

土井英右衛門 1871

1895年

高橋豊夫 1861

1884年

元田吾一 1861

1891年

[1887 - 高橋豊夫]

堀本助助 天保4 - mts 18

(1833 - 1885)

▽町八丁目

mt

16 (1889)

▽町

19 (1886)

▽町

18 (1885)

▽町

19 (1886)

43年

▽町

14 (1888)

39年

▽町

15 (1882)

38

大井 23

▽町 18 (1885)

▽町 20 (1887)

近藤玄琴 (1831-1886)

小野友三郎

肝分兼分

海通介

(mt 13 - 昭和9)

沢山三郎

生

生 1867-

波本井九十郎 (慶3 - 大正8)

1867 - 1919

樺正薰 (文久3 - 大正14)

1863 - 1925

伊藤本松 (mt 11 - 大正11)

1878 - 1922

刈屋他人

森岩太郎

飯島正之助

近藤又蔵

田中矢徳

竹田登代

人見忠次

吉田好九郎

寺尾 帰朝 ^{note 16} (1883)

藤沢 帰朝 ^{note 20} (1887)

セリ - 林, 貞本, 吉江 ^{note 30} (1897)

34 末 (1901) 35 (1902)

高木 吉江 ^{note 34} (1901-2)

高木 Über die Abel'schen Zahlkörper im
Bereich d. ration. komplexen
Zahlen 1903 [note 36]

中川

Miscellen aus dem Gebiete der
hyperbolischen Geometrie
1910 [note 43]

寺尾 ^{note 10} (1877)

寺尾 帰朝
寺尾 貞本
寺尾 吉江
寺尾 34
寺尾 35
寺尾 36
寺尾 37
寺尾 38
寺尾 39
寺尾 40
寺尾 41
寺尾 42
寺尾 43
寺尾 44
寺尾 45
寺尾 46
寺尾 47
寺尾 48
寺尾 49
寺尾 50
寺尾 51
寺尾 52
寺尾 53
寺尾 54
寺尾 55
寺尾 56
寺尾 57
寺尾 58
寺尾 59
寺尾 60
寺尾 61
寺尾 62
寺尾 63
寺尾 64
寺尾 65
寺尾 66
寺尾 67
寺尾 68
寺尾 69
寺尾 70
寺尾 71
寺尾 72
寺尾 73
寺尾 74
寺尾 75
寺尾 76
寺尾 77
寺尾 78
寺尾 79
寺尾 80
寺尾 81
寺尾 82
寺尾 83
寺尾 84
寺尾 85
寺尾 86
寺尾 87
寺尾 88
寺尾 89
寺尾 90
寺尾 91
寺尾 92
寺尾 93
寺尾 94
寺尾 95
寺尾 96
寺尾 97
寺尾 98
寺尾 99
寺尾 100

三輪

33 450 22 124 124 124 (1900)

36 7-38 留字 (38 7 12 12 12), 1905

大正 24 寺尾 貞本

河合 留字 1900 (33)

1901-1903 留字 (1901)

留字 1903 (36)

(留字)

寺尾 26-31

寺尾 31-36

中川 40

寺尾 36

高木 34 (主)

吉江 35

(广用) 寺尾 29-34

寺尾 31

高木 33

吉江 33

中川 37

留字

留字 30-34

民主主義の発展の一歩として

(小説の題は十八世紀の英領北米の歴史を基に
あつた。)

これは好むところ、さう、さうアメリカの獨立、フランス
の大革命に暗示された平民生活の個人格の
模範に、同様に理想をましく表現したもので
あつた。

田中五郎 (9-18)

松井房三 (12-26)

千本 (21-大正6)

城島三郎 (21-大正12)

七馬 (25-大正2)

林 (30-31, 35-~~43~~)

岡村 (31-)

中川 (32-36)

伊藤本 (33-大正10)

西川 (35-昭和~~1~~)

安東孝郎 (39-)

元田三郎 (39-昭和6)

阿部八代太郎 (44-)

佐藤良一 (大正~~6~~-)

杉村竹太郎 (大正7-)

折谷三 (大正9-)

黒河清三 (大正11-)

中村幸四郎 (昭和1-)

大矢

高橋慶夫さん

(折谷は昭和18? 19?)

三上さん? 父は

三浦永

47内藤三

昭和

~~1881~~

193

204

昭和

松本

和田健次

193

202

沢田吾一 (明治22)

1889

沢田は吾一 第一高専中卒校舎論であった

若松の政経

「澤田吾一君の……」

341<202

1210

1861 生小

(明治15)

1882

若松有入

(明治20)

1887

一高の政経

1889

(明治24)

1891

重太

1892

四高の政経

(29)

1896-1911

高専高商の政経

(304 大正)

高木 [帰朝後]

正古数学会報告 Vol. 1 (1901-03) 3 篇
記号概要 Vol. 2 (1903) 1 篇

林

(1901-03)
報告 vol. 1 4 篇
記号概要 Vol. II (1903) 1
Vol. III (- 1906) 3
Vol. IV (1907-08) 1
Vol. 5 (1909-10) 1
Vol. 6 (1911-12) 1

私著

Vol. III 2
Vol. IV 1
遠藤
Vol. 4 1
≡ 上
Vol. 4 1

吉江

[帰朝後]

記号概要 Vol. 2 (1903) 2
3 (1904-06) 2
4 (1907-08) 1

中川

Vol. 4 (1907-08) 4
Vol. 5 (1909-10) 1
Vol. 6 (1911-12) 1

35年
(1902)

藤原

Vol. 3 (1904-06) 1
Vol. 6 (1911-12) 1
sur les nouveaux
nombres de M. Pascal,
Rend. del R. Acad. dei
Lincei, 1908

窪田

Vol. 5 (1909-10) 3
Vol. 6 (1911-12) 1
Serie (5)

小倉

Vol. 4 (1907-08) 1
5 6
6 (1911-14) 2

和田 健次

1910 9 25

Memoir. Kyoto

"New proof of a theorem of Hilbert"
(1910) 付録 2

Conception of a curve (1912)
On continuous and nowhere rectifiable
curves (1912)

(1901) 東大卒 並に京大助教授
明治 11 大正 4 34 年 東大卒 並に京大助教授
吉川 定夫 (1878 - 1915) 41 年 44 (1908-1911) ドイツ.
1. Zwei p. 1910 2. Drei p. (1910)
3. Über eine Parameter (1912)
4. Miscell. (1913)
世に学合致 40 (1907)
3 年 2 (1913)

西内 定吉

On the foundations of plane pseudo geometry
(1912)

内藤 丈吉

福澤 三八

数学雑誌

沢山

御刊 (私) 1900

33

九月 1901

寺尾 数学雑誌 29 (1896)

森吉 五次元空間の幾何学 (352 1902)
一五次元空間の幾何学 (1903)
金が研究の一歩 (394 1906)

梅 数学雑誌 34 (1901)

川屋 三角形の性質 (364 1903)

水野 三市 数学雑誌 (394 1906)

林, 遠藤又成, 加藤孝重, 藤巻 9p3p

Y. S.

Journal of the College of Science,
Imperial University of Tokyo

Vol. 2 (1888)

藤田 Ueber die Darstellbarkeit
willkürlicher Functionen durch Reihe,
die nach den Wurzeln einer
transcendenten Gleichung fortschreiten.

Vol. 6 (1893)

Recherches on the multiplication of
elliptic functions

Compte Rendus du 2. congrès International
des Mathématiciens. (1900)

X Note on the mathematics of the
old Japanese school.